

開催日：2020年2月22日（土）～23日（日）

開催場所：京都市 大原の里

出席：藤原，兵藤，白水，藤井，松永，稲垣，神田，栗原，田中，小池，SCHMOECKER，松本，泊

2月22日（土）

■全体会議

1. 委員長挨拶

藤原委員長より挨拶がなされた。

2. 前回議事録の確認

藤井幹事長より議事録確認依頼があり，前回委員会の議事録が承認された。

3. 2020年度 春大会・秋大会に向けて

次回春大会（大阪大学），秋大会（信州大学）の準備状況の報告があった。

4. 国際賞推薦について(報告)

土木学会国際関連賞の推薦方針について，資料3により，推薦選考委員会で検討した結果が報告された。

5. 今回の合宿での検討課題について(1日目および2日目に個別に議論し，その後全体討論)

(1)「シンポジウム」について

(ワンデーセミナー100回記念シンポジウムについて，シンポジウム「後」に向けてのアクションの検討)

■現状の問題点・課題

- ・理系と文系を分けて考えているのはおかしい．本当のジンテーゼが必要である．
- ・河川計画をどう扱うか．流域計画という視点もあった．
- ・実務者の計画に対する感覚が劣化している可能性がある．
- ・土木が科学に憧れる偏重があり，価値観を排除してしまっているのではないか．
- ・教育の現場で，価値観を教えるのも少ない（計算ばかりではないか）

■今後のアクション（案）

- ・ R2年4月 シンポジウム（ワンデーセミナー100回記念シンポジウム）
- ・ R2年6月 春大会（大阪大）にてシンポジウムの実施報告を行い，シンポジウム参加者以外へも議論を拡大する．（このタイミングで計画学委員会も新体制に）
 - 土木学会論文集D部門の再編（50周年、100回ワンデー、そのシンポジウムの議論を受けた約10年目の見直し）
 - そのために「D4」委員会を作り、それが、特集号の論文も査読する．
 - 「D部門」におけるキーワードの検討・調整
 - 論文集編集のポリシーも明示（D1(景観)，H(教育)も参考）
- ・ R2年11月 秋大会（信州大）で議論の報告．可能なら提案するたたき台・案を提示する．
- ・（最早案）R3年2月にアナウンス．R3年6月春大会の論文の受付
- ・ 遅くとも，R4年2月にアナウンス．R4年6月春大会の論文の受付

■実施上の留意事項

- ・ 論文集の対象となるキーワードを整理する。
- ・ 査読基準でどこを重視するかを明示し、提示する。
- ・ 小委員会の委員長、土木学会家田次期会長等と相談する。

■シンポジウムの開催判断

- ・ コロナウイルスの蔓延が懸念されるが、実施するか否かは3/16頃の状況を見て検討する。

(2)「プレナリーセッション」について(全国大会 研究討論会 幹事会セッション(全国大会 or 計画学))

(i)研究討論会 (R2 全国大会)

- (1) 目的：土木以外の分野も含めた人々を対象に、土木計画学について発信
- (2) メンバー (案)：藤井先生、柴山先生 (or 中野さん)、青木さん、田村氏 (産経新聞記者)
- (3) 司会 (座長)：藤原先生
- (4) メディア：全国紙、Web 配信
- (5) 段取り：3/10 までに申請書作成 (松永先生、小池先生)

(ii)幹事会セッション (R2 全国大会)

- (1) 目的：土木学会の他分野も含めた人々を対象に、土木計画学について発信
- (2) セッション (2つのセッション)
 - ・ インフラ政策学を考える～土木における実践の学 (座長：藤井先生)
 - ・ 土木と教養 (座長：小池先生)
- (3) メンバー (案)
 - ・ 土木計画学：幹事会メンバー (参加セッション要調整)
 - ・ 松本先生 (名工大)
 - ・ 岡田憲夫先 (黎明期の先生、連名著者で議論に参加してもらう)※メディア (建設系専門紙) にもアナウンスをする
- (4) その他
 - ・ 次年度からの共通セッション化を視野に (秋に登録)
- (5) 段取り：メンバー各自投稿

(iii)幹事会セッション (土木計画学研究発表会 R2 秋大会)

- (1) 目的：実務家 (特に行政) を含めた議論・意識付け・発信
- (2) スペシャルセッション名
 - ・ 国土のビジョン「(仮題) 都市と河川」(審議官クラスセッション)
- (3) メンバー (案)：
 - ・ 藤井先生、竹村公太郎氏、退官したての OB (理協力のある)：森さん、広瀬さん等又は、OB (前川さん、徳山さん等) と現役 (審議官、開催地である中部地整の局長等) の組み合わせ

(iv)幹事会セッション (土木計画学研究発表会 R3 春大会)

- (1) 目的：土木計画学メンバーの中での意識付け・啓発
- (2) スペシャルセッション名

・土木計画の学を考える～熟議の場としての学会の復活～

(3) メンバー (案) : 藤井先生、小池先生、山口敬太先生 (D1、D2)、幹事会メンバー若手 (1～2名)

以上